

【表紙】

【提出書類】	有価証券報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の2第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2021年1月28日
【事業年度】	第7期(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
【会社名】	株式会社フージャースホールディングス
【英訳名】	Hoosiers Holdings
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 廣岡 哲也
【本店の所在の場所】	東京都千代田区丸の内二丁目2番3号
【電話番号】	03(3287)0704
【事務連絡者氏名】	専務取締役 伊久間 努
【最寄りの連絡場所】	東京都千代田区丸の内二丁目2番3号
【電話番号】	03(3287)0704
【事務連絡者氏名】	専務取締役 伊久間 努
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1【有価証券報告書の訂正報告書の提出理由】

2018年1月19日に提出した有価証券届出書に記載いたしました「手取金の使途」について、2019年4月1日及び2019年8月8日に重要な変更が生じておりましたが、かかる変更の内容を2020年6月26日に提出いたしました第7期（自2019年4月1日至2020年3月31日）有価証券報告書に記載していなかったことから、これを記載するため有価証券報告書の訂正報告書を提出するものであります。

2【訂正事項】

第一部 企業情報

第4 提出会社の状況

1 株式等の状況

(4) 発行済株式総数、資本金等の推移

3【訂正箇所】

訂正箇所は_____を付して表示しております。

第一部【企業情報】

第4【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】
(訂正前)

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
2017年4月1日～ 2018年3月31日(注)1	27,798,675	59,354,275	13,482	15,882	-	-
2018年12月25日(注)2	1,800,000	57,554,275	-	15,882	-	-

(注)1 2018年2月1日から同年3月22日までを権利行使期間とする一部コミットメント型ライツ・オフアリングによる新株予約権の行使による増加であります。
2 自己株式の消却による減少であります。

(訂正後)

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
2017年4月1日～ 2018年3月31日(注)1	27,798,675	59,354,275	13,482	15,882	-	-
2018年12月25日(注)2	1,800,000	57,554,275	-	15,882	-	-

(注)1 2018年2月1日から同年3月22日までを権利行使期間とする一部コミットメント型ライツ・オフアリングによる新株予約権の行使による増加であります。

- 2 自己株式の消却による減少であります。
3 2018年1月19日に提出した有価証券届出書に記載いたしました「第一部 証券情報 第1 募集要項 2 新規発行による手取金の使途 (2)手取金の使途」について、以下のとおり、2019年4月1日及び2019年8月8日に重要な変更が生じております。

<2019年4月1日付の変更>

変更の理由

当社は、2018年1月19日開催の当社取締役会の決議に基づくライツ・オフアリング(以下、「本ライツ・オフアリング」という。)により調達した135億円の資金のうち75億円を、2018年2月から2019年3月までの間に、ヘルスケア・リート事業展開の基盤強化のための投資に充当する予定でした。もっとも、当社は、ヘルスケア・リークの組成及び上場の時期に関する検討を進める中で、2020年3月までの組成及び上場を目指すことが現実的であるとの判断に至りました。そのため、2019年4月1日、上記75億円の支出予定時期が、ヘルスケア・リークの組成及び上場の時期の見込みに合わせて、2020年3月までに変更されることとなりました。

また、当社は、本ライツ・オフアリングにより調達した135億円の資金のうち60億円を、2018年2月から2019年3月までの間に、エネルギー事業への事業投資としてのバイオマス発電設備の取得に充当する予定でした。もっとも、当社は、バイオマス発電設備の稼働開始時期に関する検討を進める中で、2020年3月までの稼働を目指すことが現実的であるとの判断に至りました。そのため、2019年4月1日、上記60億円の支出予定時期が、バイオマス発電設備の稼働開始時期の見込みに合わせて、2020年3月までに変更されることとなりました。

変更の内容

(変更前)手取金の使途

具体的な使途	金額	支出予定時期
ヘルスケア・リート事業展開の基盤強化のための投資	75億円	平成30年2月～平成31年3月
エネルギー事業への事業投資	60億円	平成30年2月～平成31年3月

(変更後)手取金の使途

具体的な使途	金額	支出予定時期
ヘルスケア・リート事業展開の基盤強化のための投資	75億円	2018年2月～2020年3月
エネルギー事業への事業投資	60億円	2018年2月～2020年3月

< 2019年8月8日付の変更 >

変更の理由

当社は、本ライツ・オフリングにより調達した135億円の資金のうち75億円を、2020年3月までの間に、ヘルスケア・リート事業展開の基盤強化のための投資に充当する予定でした。もっとも、当社は、2020年3月までのヘルスケア・リートの上場を目指し、上場時の市場動向及びアセットサイズの検討を進める中で、組成方針（スキーム）・時期の変更が企業価値向上につながると判断いたしました。そのため、当社は、2019年8月8日、ヘルスケア・リートについて、私募リートでの組成とし、組成時期を2021年3月までに変更いたしました。これに伴い、同日、上記75億円の支出予定時期が、ヘルスケア・リートの組成時期の変更に合わせて、2021年3月までに変更されることとなりました。また、当社は、本ライツ・オフリングにより調達した135億円の資金のうち60億円を、2020年3月までの間に、エネルギー事業への事業投資としてのバイオマス発電設備の取得に充当する予定でした。もっとも、当社は、資源エネルギー庁によるFITにおける燃料調達についての見解を慎重に見極める必要があると判断し、2019年8月8日、エネルギー事業への事業投資の一環として匿名組合持分を取得したバイオマス発電所（神栖）の稼働時期を未定とすることを決定いたしました。これに伴い、同日、上記60億円の支出予定時期が、上記バイオマス発電所の稼働時期に合わせて、未定に変更されることとなりました。

変更の内容

（変更前）手取金の使途

具体的な使途	金額	支出予定時期
ヘルスケア・リート事業展開の基盤強化のための投資	75億円	2018年2月～2020年3月
エネルギー事業への事業投資	60億円	2018年2月～2020年3月

（変更後）手取金の使途

具体的な使途	金額	支出予定時期
ヘルスケア・リート事業展開の基盤強化のための投資	75億円	2018年2月～2021年3月
エネルギー事業への事業投資	60億円	2018年2月～未定